

AASは『正しい答えではなく、論理の妥当性で勝負する』スタイルの診断士受験専門機関です。

AAS名古屋

この解答例は、11月24日 現在のものです

AAS（アソシエ・アドバンス・スクール）は、中小企業診断士2次試験に特化した受験機関です。過去問を基軸に置いた学習で、スーパーフレームワークや設問分解練習法など独自の2次試験攻略法を開発してきました。AASでは「表現力×構成力×与件活用力」で答案を作成しています。

【令和3年度・第2次筆記試験】事例I（組織・人事戦略）

この模範解答例は
AAS名古屋が作成しました。

第1問（配点20点）（100字）

理由は、①印刷機の技術革新により専門的技術や知識が不要となり、事務用印刷事業の収益性が低下したため、②専門特化された多様な協力企業と連携し、付加価値の高い高品質、高精度な印刷事業に注力するため、である。

（100字）

第2問（配点20点）（100字）

理由は、①デザイナーやアーティストとの人脈やプロジェクト経験を活かし、デザイン部門の専門性を高めるため、②今後の主力事業と期待するデザイン部門の陣頭指揮を執らせ、スムーズな事業承継を図るため、である。

（100字）

第3問（配点20点）（100字）

利点は、紙媒体に依存しない新市場に参入することで、新たな顧客や事業機会が得られること、欠点は、市場の競争環境が厳しいにも関わらず、新規の需要創造や営業活動に限られた経営資源が投入できないこと、である。

（100字）

第4問（配点20点）（100字）

発展の施策は、①対等なパートナーシップにより新たなサービスや製品を共に開発し、新規需要を創造すること、②多様な協力企業と顧客ニーズを情報交換し、ネットワークを活用した新規顧客開拓を実施すること、である。

（100字）

第5問（配点20点）（100字）

課題は、事業転換に伴うコアコンピタンスの再構築である。解決策は、新規事業である高精細画像のデータ化やウェブデザイン等の人材確保、人材育成を図り、専門性を高めることで、新たな強みを創出すること、である。

（100字）

文責：AAS名古屋 鷲山はるこ